

学校法人 塚本学院

大阪芸術大学 大学院 芸術学部 通信教育部

大阪芸術大学短期大学部[大阪学舎][伊丹学舎] 通信教育部

大阪芸術大学附属大阪美術専門学校

大阪芸術大学附属幼稚園 松ヶ鼻幼稚園 照ヶ丘幼稚園 金剛幼稚園 泉北幼稚園

大阪芸術大学プロムナードコンサート2011 クラシック meets ポップス&ミュージカル

NHK大阪ホールに立たれた塚本邦彦理事長先生の笑顔が会場全体に和やかなオーラを伝えた瞬間、2時間あまりの「大阪芸術大学プロムナードコンサート2011」のショーがスタートしました。会場の和やかな雰囲気とは違って舞台裏には鋭い緊張が走ります。

8月29日NHK大阪ホール、30日が愛知県芸術劇場、そして31日が神戸文化ホールです。初日はNHK大阪ホール。まずは67組からオーディションで選ばれた4組のピュラー音楽コースの学生が登場。続いて、

お馴染み「ようこそ高校生の皆さん」のコーナーです。大阪信愛女学院中・高等学校の吹奏楽部の皆さんが総勢31名。「さよならの夏」をさわやかに演奏してくれました。そして、ショーのハイライト、O.U.A.ビッグバンドと高校生との合同演奏です。演奏中に高校生が「ピック・アップ・ピース・あつ

はん！」と掛け声をかけてからは、不思議な一体感が生まれ合同演奏は大成功！このコーナーは、名古屋では名古屋市立工芸高等学校が、そして神戸では兵庫県立国際高等学校が、それぞれ個性のある演奏と合同演奏では見事な成果を生んでくれました。続いてO.U.A.ビッグバンドが3人のヴォーカル&ダンスと共演。回を増すごとに成長した3人（池田美晴、大門弥生、辻川奈々美）の厳しい訓練を耐えぬいたガッツは特筆に値します。



第2幕は第1幕とは対照的に「静」の世界から始まります。緞帳が上がるとかすかな譜面燈で浮かび上がる100名近いオーケストラの姿に客席からはため息が漏れ、その真つ暗な世界からハーブの音だけが会場にこだまします。やがて音楽はスメタナの交響詩「モルダウ」へと移行、スクリーンにはモルダウ河のたゆたうとした流れが映し出されます。指揮の現田茂夫さんが映像とのコラボレーションを演出します。川井郁子音楽学科教授の美しい音色に会場が耳をすました後、大阪芸大卒業生の福井雅志さん、東野亜弥子さんのお二人がそれぞれ新鮮な魅力を聴かせてくれます。そして、ショーの核となる芸大合唱団による「ダニーボーイ」！歌詞「…あなたが墓前で祈ってくれる時、私の墓は温かなものになるでしょう」にPA席で慌ただしくQをだす筆者も涙しました。

この空気を振り払うように舞台芸術学科の学生が「アメリカ」を元気に踊って、いよいよ、ミュージカル界のプリンス井上



英雄さんの登場です。井上さんは現役学生との共演にとっても積極的で、演奏学科学生と「ウエストサイド」「ミス・サイゴン」ほかで共演、井上さんのソロは1曲だけで、「モーツァルト」から「僕こそ音楽」を熱唱して観客を圧倒しました。学生たちが井上さんから学んだものは計り知れないがあります。ショーのフィナーレはこの曲だと決めていました。フィギャアの安藤美姫さんが被災地の皆さんに思いを込めて舞ったあの曲、モーツァルトの「レクイエム」です。

司会は、公演順に音楽学科の森川美穂准教授、平野啓子放送学科教授、そして杉山佳寿子放送学科（声優コース）教授です。初登場の杉山先生はハイジからキテレツまで、その素晴らしい世界を会場に振りまいてくださいました。

末尾になりましたが、学科のフェンスを超えて協力してくださった先生方と学生たち、そして副手とスタッフのみなさん、心から感謝いたします。

（音楽学科長 水田 堯）